※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本史探究（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の歴史に興味・関心を持ち、歴史的事象に「なぜ」の視点を持って考える。
・日本の歴史の基本的な流れを、世界の歴史と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付ける。
・毎時間の課題やグループ発表について、関心や意欲をもって取り組める。また、発問に対して積極的に回答できることを目指す。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・日本の歴史の展開を、世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
・国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成するために必要な自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の基本的な流れを、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察することで、認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえて判断した過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本文化のあけぼの	・更新世と完新世 ・縄文文化 ・弥生時代と東アジアの動向 ・先進技術伝来と氏姓制度 ・ヤマト王権と古墳の成立 ・聖徳太子と飛鳥文化	a:稲作や仏教が日本に伝わったことで、日本の社会がどう変化したのかを、知識として身につけ、理解している b:農業生産の始まりや、階級社会への意向などについて、史料を用いて考察し、適切に表現できている c:古代の文化の成立過程や、その展開、特色について関心を持ち、歴史的背景を意欲的に追求しようとしている	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容
	東アジア文化の影響と律令制度の成立	・大化の改新 ・壬申の乱 ・律令と新たな行政機構 ・平城京と天平文化 ・平安遷都と唐風文化	a:大化の改新以降の国際関係について、知識として身につけ、理解している b:中央集権的な国家の確立までに大化の改新や壬申の乱などの大きな変革が必要とされた歴史的背景について自ら考察し、自分の意見を適切に表現している c:律令国家のしくみや成立過程について関心をもち、歴史的背景を意欲的に追求しようとしている	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容
2	摂関政治と武家社会の展開	・藤原氏の台頭と摂関政治 ・土地制度の変遷 ・天皇の後継問題と院政の開始 ・武士の出現と平清盛 ・源平合戦と鎌倉幕府の成立	a:貴族社会と武家社会のちがいについて、知識として身につけ、理解している b:寄進地系荘園が各地に広まった背景や院政のしくみとのかかわりについて考察し、自らの考えを適切に表現している c:藤原氏が摂関政治という形で政権を独占した過程や、院政期の社会に関して意欲的に課題を追求しようとしている	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容

※令和４年度以降入学生用

	武家社会の発展・織豊政権と桃山文化	・鎌倉幕府の盛衰と建武の新政 ・室町幕府の成立 ・ヨーロッパ人の来航、織豊政権について ・織田、豊臣の政治と、幕藩体制の成立について	a:戦国時代と幕藩体制のちがいについて、知識として身につけ、理解している b:13 世紀における東アジアの情勢の変動をふまえ、元寇が幕府に与えた影響と御家人社会の変貌について、自らの考察を表現できているかどうか c:鎌倉幕府の特色や、建武の新政が短期間で崩壊したことなどの歴史的な背景について意欲的に課題を追求しようとしている	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容
2	幕藩体制の動揺と文化の成熟	・江戸幕府の支配体制 ・江戸時代の人々のくらし ・江戸幕府の改革	a:江戸時代の社会や改革について知識として身につけ、理解している b:武断政治から文治政治へ転換していく過程を、その背景を含めて考察し、それぞれの特色などについて自らの言葉で適切に表現できている c:江戸時代における諸産業の発達や、その展開、課題について関心をもち、意欲的に追求しようとしている	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容
3	開国から倒幕へ	・開国から倒幕へ ・明治維新と新政府の成立 ・近代国家の形成	a: 明治維新、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、日本が立憲体制に移行したことなどを理解する。 b: アジアや欧米諸国との関係などに着目して、主題を設定し、日本が近代国家へ移行する過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈の根拠を示して表現する。 c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容
	１５年戦争と日本・ア	・両大戦間と日本 ・十五年戦争と日本	a: 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容

※令和４年度以降入学生用

			b: 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈の根拠を示して表現する。 c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			
3	戦後改革と高度経済成長	・戦後世界と日本 ・グローバル化の中の日本	a: 社会・経済・情報の国際化などを基に、1970 年代以降の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 b: 国際社会の変化、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して主題を設定し、国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈の根拠を示して表現する。 c: 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査	学習課題 定期考査	提出物の内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度